

月例経済報告（2021年8月）

● 月例経済報告（8/26）

基調判断	(8月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。 感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、<u>感染拡大による下振れリスクの高まり</u>に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。 (7月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。 感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
個人消費	(8月) サービス支出を中心に弱い動きとなっている。 (7月) このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。 消費総合指数と実質総雇用者所得
設備投資	(8月) 持ち直している。 (7月) 持ち直している。 製造業・非製造業の設備投資(名目額)
住宅建設	(8月) 底堅い動きとなっている。 (7月) 底堅い動きとなっている。 住宅着工戸数(季節調整値)
雇用情勢	(8月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。 (7月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。 雇用者数、就業者数の推移

生産	(8月) 持ち直している。	鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2015年=100) 在庫率 (目盛右) 出荷 生産 (目盛右) 在庫 (目盛右) 予測調査 (月) (年)
	(7月) 持ち直している。	
輸出	(8月) 緩やかな増加が続いている。	地域別輸出入数量指数 ①輸出 (2015年=100) 全体 アジア (57.3%) E U (9.2%) アメリカ (18.4%) 全体 7月 ▲2.0% 3MA ▲0.6% アジア 7月 ▲1.6% 3MA ▲1.0% アメリカ 7月 ▲2.1% 3MA +2.0% E U 7月 +12.3% 3MA +4.1% (月) (年)
	(7月) 緩やかな増加が続いている。	
国内企業物価	(8月) 上昇している。	企業物価の推移 (2015年=100) 輸入物価 (目盛右) 輸出物価 (目盛右) 国内企業物価 国内企業物価 (参考指数、消費税抜き) (月) (年)
	(7月) 上昇している。	
消費者物価	(8月) <u>このところ底堅さがみられる。</u>	消費者物価の推移 (2020年=100) 生鮮食品を除く総合 生鮮食品及びエネルギーを除く総合 (破線) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合 (政策等による特殊要因を除く) (太線) 総合 (月) (年)
	(7月) 横ばいとなっている。	
海外経済	(8月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、 <u>一部で依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。</u> 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、 <u>一部地域を中心とした感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。</u> また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。	
	(7月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。	